

## いい日旅立ち

# 学校説明会等のご案内

### 【札幌新川高等学校】＝学校説明会（対象＝中学生、保護者）

札幌新川高校の学校説明会が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和6年10月26日（土）12：40～14：15（受付12：10～）  
※ 12：10～12：35は校内自由見学、14：15～15：50は部活動見学  
ができます。
- ②会場 札幌新川高校
- ③留意 ・ 会の詳細は札幌新川高校HPに掲載されており、そこに新川高校へのバス路線も  
記されています。

学校説明会の参加希望者は、札幌新川高校のHPよりお申し込みください。

（中学校への連絡は不要です。）

### 【札幌月寒高等学校定時制課程】＝学校公開（対象＝中学生、保護者）

札幌月寒高校定時制課程の学校公開が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和6年11月 1日（金）17：40～18：40（給食試食受付17：10～）
- ②会場 札幌月寒高校 給食室、会議室、定時制課程教室
- ③留意 ・ 給食試食希望者は225円をお支払いいただきます。

学校公開の参加希望者は、「学校説明会・体験入学～校内申込用紙～」を10月11日（金）までに担任の先生へ提出してください。QRコード（HP等には非公開）のついた案内プリントをお渡ししますので、その後は各自で申し込みをしていただきます。

### 【札幌市立星友館中学校（公立夜間中学）】＝学校説明会（対象＝中学生、保護者）

札幌市立星友館中学校の学校説明会が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和6年10月19日（土）14：00～14：50（受付13：30～）  
10月21日（月）18：30～19：20（受付18：00～）  
※説明会終了後、19日は個別相談、校内見学、21日は授業見学ができます。
- ②会場 札幌市立星友館中学校（札幌市中央区南3条西7丁目）
- ③留意 ・ 入学希望者1名につき最大3名まで参加可能です。
- ④電話 011-206-8318（平日13：00～17：00）

学校説明会の参加希望者は、上記の電話（番号）よりお申し込みください。

（中学校への連絡は不要です。）

## 私立高校特待・奨学生一覧⑨

欠席日数等によって、条件をクリアしても「特待生」や「奨学生」を認められないこともあります。

高 校 名	種 類	内 容	コ ー ス ・ 条 件 等
北海 (B日程)	特別奨学生A	入学金全額&授業料全額免除	①全コース・入試30位以内
	特別奨学生B	入学金全額免除	①全コース・入試100位以内
	南部忠平 記念奨学生	入学金全額免除	①要相談(指定クラブ)・実績あり
	大谷喜一 奨学生	入学金全額免除	①要相談(指定クラブ、主に野球部)・推薦合格者で 実績あり
	北海校校友会 奨学生	年120,000円支給	①全コース・成績優秀者、文武に優れた生徒を各学 年2名選出
	北海学園 特待生	授業料全額免除	①全コース・最優秀生徒を2、3年で各1名選出
	北海学園 奨学生第 1種	年60,000円支給	①全コース・成績に経済的条件を加味し各学年4名 選出
	北海学園 奨学生第 4種	年96,000円支給	①全コース・成績優秀者を各学年1名選出

### ●札幌市立星友館中学校

道徳「私の再出発」で説明したように札幌市立星友館中学校は、道内唯一の夜間中学校です。栄南中学校の3年生は現時点で星友館中学校へ転校することはできません。しかし、栄南中学校卒業後、中学校の学習内容を学び直したいという生徒の入学は可能です。そこで、中学校卒業後の進路の1つとお考えください。

### ◎coffee break コンドルセのパラドクス

Aさん、Bさん、Cさんの3人組が、旅行計画を立てています。候補地は、「日本」、「アメリカ」、「スペイン」の3カ国です。どこへ行くかは、多数決で決めることにしました。Aさんは日本、Bさんはスペイン、Cさんはアメリカに投票しました。引き分けです。そのため、2カ国ずつで行う多数決にしました。最初に日本とアメリカの多数決です。結果は、日本1票、アメリカ2票でした。そこで、アメリカとスペインで決選投票となりました。結果は、アメリカ1票、スペイン2票で、行き先はスペインに決まりました。旅行業者に手続きに行く直前に「念のため、日本とスペインの多数決もしておこう。」ということになりました。結果は、日本2票、スペイン1票で、日本の大逆転勝利となりました。こんなことってあるのでしょうか？

	第1希望	第2希望	第3希望
Aさん	日 本	スペイン	アメリカ
Bさん	スペイン	アメリカ	日 本
Cさん	アメリカ	日 本	スペイン

例えば、上表のような希望順の場合、あり得ます。「対戦順によって結果が左右される」というカラクリがあり、これを「コンドルセのパラドクス」といいます。多数決の取り方の落とし穴ともいえます。